

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月1日

上場会社名 株式会社 安永 上場取引所 東
 コード番号 7271 URL <https://www.fine-yasunaga.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 北村 直紀 TEL 0595-24-2122
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年3月期第2四半期	15,592	2.5	251	9.6	402	54.4	288	108.0
2022年3月期第2四半期	15,216	17.6	229	—	260	—	138	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 1,476百万円（151.3％） 2022年3月期第2四半期 587百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	24.13	—
2022年3月期第2四半期	11.60	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2023年3月期第2四半期	33,736	9,647	28.6
2022年3月期	31,659	8,206	25.9

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 9,647百万円 2022年3月期 8,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
2023年3月期	—	5.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	32,000	10.2	900	—	900	—	850	—	71.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	12,938,639株	2022年3月期	12,938,639株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	975,309株	2022年3月期	975,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	11,963,330株	2022年3月期2Q	11,963,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍の規制が緩和され正常化しつつあるものの、他方でウクライナ情勢悪化の影響等による世界的な資源価格の高騰、さらには欧米との金利差拡大を主因とする急速な円安の進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、半導体不足等の供給制約は一部で緩和されつつあるものの、未だ挽回生産には至っていない状況です。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高155億92百万円（前年同期比2.5%増加）、営業利益2億51百万円（前年同期比9.6%増加）、経常利益4億2百万円（前年同期比54.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億88百万円（前年同期比108.0%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エンジン部品事業)

半導体不足や中国の都市封鎖の影響等による自動車メーカーの生産調整は、夏以降主に海外メーカーで回復傾向となっており、国内外ともに売上は増加したものの、電力費の上昇やプロダクトミックス等により利益は減少しました。その結果、売上高109億59百万円（前年同期比7.3%増加）、営業利益2億34百万円（前年同期比21.0%減少）となりました。

(機械装置事業)

工作機械の売上は微増となりましたが、検査測定装置及びワイヤソーは顧客の設備投資の延期等もあり減少しました。一方利益面では、原価低減活動等により赤字幅が縮小しました。その結果、売上高23億36百万円（前年同期比7.2%減少）、営業損失1億36百万円（前年同期は営業損失1億93百万円）となりました。

(環境機器事業)

エアーポンプ、ディスポーザシステムとも売上は減少し、また円安の影響による仕入れ価格の上昇等により利益も減少しました。その結果、売上高21億62百万円（前年同期比7.2%減少）、営業利益1億28百万円（前年同期比10.8%減少）となりました。

(その他の事業)

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高1億33百万円（前年同期比13.6%減少）、営業利益4百万円（前年同期は営業損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ20億77百万円（前連結会計年度末比6.6%）増加し、337億36百万円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ17億55百万円（前連結会計年度末比9.8%）増加し、197億32百万円となりました。

この増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加9億19百万円、原材料及び貯蔵品の増加3億76百万円や仕掛品の増加3億64百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円（前連結会計年度末比2.4%）増加し、140億4百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加2億74百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8億19百万円（前連結会計年度末比5.1%）増加し、168億35百万円となりました。

この増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加6億10百万円や短期借入金の増加3億円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円（前連結会計年度末比2.5%）減少し、72億53百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少2億32百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ14億40百万円（前連結会計年度末比17.6%）増加し、96億47百万円となりました。

この増加の主な要因は、為替換算調整勘定の増加12億6百万円、利益剰余金の増加2億52百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,526	4,572
受取手形及び売掛金	4,695	5,614
電子記録債権	878	861
商品及び製品	2,531	2,792
仕掛品	2,261	2,626
原材料及び貯蔵品	1,960	2,337
未収入金	335	275
その他	788	653
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,976	19,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,849	12,227
減価償却累計額	△7,949	△8,221
建物及び構築物（純額）	3,899	4,006
機械装置及び運搬具	30,136	31,041
減価償却累計額	△25,107	△26,165
機械装置及び運搬具（純額）	5,028	4,875
工具、器具及び備品	5,423	5,405
減価償却累計額	△4,995	△5,037
工具、器具及び備品（純額）	427	368
リース資産	267	360
減価償却累計額	△168	△188
リース資産（純額）	98	172
使用権資産	108	149
減価償却累計額	△40	△72
使用権資産（純額）	67	76
土地	2,256	2,309
建設仮勘定	727	973
有形固定資産合計	12,506	12,781
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	613	608
退職給付に係る資産	86	148
繰延税金資産	32	35
その他	302	306
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,030	1,096
固定資産合計	13,682	14,004
資産合計	31,659	33,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162	3,773
電子記録債務	626	544
短期借入金	6,100	6,400
1年内返済予定の長期借入金	3,048	3,140
未払金	2,034	1,740
リース債務	40	41
リース負債	23	25
未払法人税等	38	16
賞与引当金	350	341
工事損失引当金	51	52
設備関係支払手形	2	0
その他	535	760
流動負債合計	16,016	16,835
固定負債		
長期借入金	6,111	5,878
長期末払金	151	132
リース債務	190	169
リース負債	48	53
繰延税金負債	351	371
役員退職慰労引当金	52	55
退職給付に係る負債	455	518
資産除去債務	74	74
固定負債合計	7,435	7,253
負債合計	23,452	24,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	3,989	4,241
自己株式	△330	△330
株主資本合計	7,915	8,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	204
繰延ヘッジ損益	△18	△17
為替換算調整勘定	△65	1,141
退職給付に係る調整累計額	164	150
その他の包括利益累計額合計	290	1,478
非支配株主持分	0	0
純資産合計	8,206	9,647
負債純資産合計	31,659	33,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	15,216	15,592
売上原価	13,287	13,566
売上総利益	1,929	2,026
販売費及び一般管理費	1,699	1,775
営業利益	229	251
営業外収益		
受取利息	9	4
受取配当金	11	13
為替差益	26	174
受取賃貸料	9	13
その他	31	22
営業外収益合計	87	227
営業外費用		
支払利息	42	48
減価償却費	—	10
その他	13	17
営業外費用合計	55	76
経常利益	260	402
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	261	402
法人税、住民税及び事業税	70	114
法人税等調整額	52	△1
法人税等合計	122	113
四半期純利益	138	288
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	138	288

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	138	288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△5
繰延ヘッジ損益	56	1
為替換算調整勘定	355	1,206
退職給付に係る調整額	4	△14
その他の包括利益合計	448	1,188
四半期包括利益	587	1,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587	1,476
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,212	2,518	2,330	15,061	154	15,216	—	15,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39	—	39	234	273	△273	—
計	10,212	2,558	2,330	15,100	389	15,489	△273	15,216
セグメント利益又は損失(△)	296	△193	144	247	△34	213	16	229

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,959	2,336	2,162	15,459	133	15,592	—	15,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	236	—	236	242	479	△479	—
計	10,959	2,573	2,162	15,695	376	16,072	△479	15,592
セグメント利益又は損失(△)	234	△136	128	227	4	231	19	251

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額19百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。